



案内看板



バス停

新型コロナウイルスの感染予防対策により3つの蜜(密閉空間、密集場所、密接場面)をさける事が必要とされています。よって自宅内での生活が多く、運動不足、心身の疲れ、不安の蓄積など…ストレスを感じる昨今ではないでしょうか！

このような時、お勧めのスポットが…美しい山々と自然が語る 壮大な歴史ロマン…山中城跡探索は如何でしょうか。



駐車場



案内所&売店

国道1号線を三島から箱根方面に向かって進むと、道路沿い左右に無料の駐車場、そして案内所、売店も完備していますので安心してお出かけ頂けます。また一般交通でお越しの方は、バス停「山中城跡」をご利用頂けます(写真上4枚参照)



山桜



田尻の池 案内板

散策路を歩き始めると目の前に綺麗な山桜が目飛び込み、心癒されました(写真上左)。
山中城は箱根西麓の地形を生かして造られた山城で、戦国時代に北条氏によって造られました。しかし天下統一を目指す豊臣秀吉率いる大軍に攻められ、あえなく攻め落とされました。その後400年近く埋もれていた山中城跡の発掘調査が行われ、現在では当時の状況を再現するために整備が行われ、史跡公園として開放されています。

※山城(やまじろ)とは→

山の険しい地形を利用して造られています。ポイントは「土」が多く使われている事です。土を掘ったり盛ったりして敵から攻められにくいよう工夫されています。



[田尻の池](#)



[箱井戸](#)

2つの池があります(写真上左右)。田尻の池は馬用の飲み水、箱井戸は山中城将兵の飲み水として使われており、山城にとって大変重要な場所です。



[散策路](#)



[西櫓堀 案内板](#)

散策路には案内表示板があり、また道幅も広く大変歩きやすいように整備されています(写真上左右)。



[障子堀1](#)



[障子堀2](#)

障子堀(写真上左右)。…北條氏の城にみられる特徴的な堀で、堀の中に土手状の壁を掘り残して造ります。衝立障子を並べたような造りから「障子堀」と呼ばれています。現在では保護のため芝生を張ってありますが、当時は滑りやすい粘土層のままで今より(写真より)深かったため一度落ちたらアリ地獄…上がることは困難でした。



[三島市眺望地点](#)



[散策路と休憩所](#)

散策路の高台には「三島市眺望地点 山中城跡」があります。ここからのパノラマはスケールの大きさに定評があり、富士山、駿河湾、田方平野、天城連山など見事な眺望です。そして少し先には休憩所が設置されています(写真上左右)。



西の丸 案内板



西の丸

西の丸(写真上左右)は3,400㎡の面積を持つ曲輪で、山中城の西方防備の拠点となっています。

※曲輪(くるわ)とは→

堀や土塁などで囲ってできた城の中の平らな場所のこと、当山中城では本丸、二の丸、西の丸などがあります。



木橋



天守台からの眺め

本丸から二の丸の間に架かる木橋は、いざという時に木橋を堀に落とし、本丸への敵軍の侵入を防ぎます(写真上左)。写真上右は天守台から本丸、二の丸方向の景観です。

本丸は城の中で中心となる曲輪であり、本丸を中心に外側に向かって二の丸、三の丸となっています。



ミツバツツジ



兵糧庫 案内板

散策路も終盤…天守台から兵糧庫に向かって進むと、淡いピンク色した「満開のミツバツツジ」が迎えてくれました(写真上左)。そして兵糧庫跡地に到着(写真上右)。

ここからスタート地点に戻りますがこのコースが、山中城跡公園の「障子掘り・畝堀探訪コース」と名付けられ標準タイム1時間です。

私もマスクを着用し、ほぼ標準時間の1時間で探索する事が出来ました。途中で行き会った見学者は、2組のペアでした。マスクを着用しお互い距離を置いての挨拶と会釈で安全を確保しながら、歴史をかえりみる事が出来ました。

取材：中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章